

丹後地域振興計画（中間案）概要

1 丹後地域の将来像（20年後に実現したい姿）

～安心して「元気」に住み続けることができ、希望が持て夢が実現できる丹後地域～

- 大規模災害等にも対応できる地域強靱化の取組が進み、誰もが安心して健康にいきいきと住み続けることができる「安心・安全な地域」
- 観光、ものづくり等の地域産業や農林水産業などの基幹産業が更に発展するとともに、新たな産業が創造される「稼げる地域」
- 丹後に住み、関わる一人ひとりがそれぞれの力を発揮しながら地域産業やコミュニティを担う「誰もが活躍できる地域」

2 施策の基本方向

【基本的な視点】

- 人権を尊重しながら府民個々が能力を発揮
- 市町や海の京都DMO、北部地域連携都市圏形成協議会等様々な主体との連携・協働・共創の徹底
- 丹後の強みである「豊かな食」、「ものづくりの伝統・技術」、「魅力あふれる歴史・文化」の活用

【4年間の対応方向（主なもの）】

（1）住み続けることができる安心安全な地域

- 地域産業の営みや人々の暮らしの下支えとなる、災害に強い安全な地域、安心して元気に住み続けられる地域づくりを推進
 - ▶ 防災リーダー育成等の地域防災力の向上、河川改修、国道178号等道路整備による地域の強靱化推進
 - ▶ 北部医療センターを核とした地域医療体制の充実・強化
 - ▶ 子育てに関する相談機関や子育て支援を行う団体等のネットワークづくりの推進
 - ▶ 100歳以上長寿者が多い丹後地域における健康寿命延伸に向けた取組推進
 - ▶ 管内市町水道施設の広域化支援
 - ▶ 学生ボランティア等と連携した阿蘇海の環境改善
 - ▶ 関係機関と連携した住民の移動手段確保

（2）稼ぐ力の強化による産業振興

- 観光産業の振興を入口としながら、地域に根付く織物業や機械金属業等ものづくり産業や農林水産業などの基幹産業全体のさらなる発展に取り組み、稼げる地域づくりを推進
 - ▶ eバイクを活用した片道ライド等の周遊観光の推進、ジオトレイル等体験型観光の推進
 - ▶ 丹後ちりめん創業300年を契機とした丹後織物の新商品開発・新分野への展開を支援
 - ▶ 織物・機械金属振興センターを核とした機械金属業等ものづくり産業の支援
 - ▶ CAS冷凍やAI・ICT等を活用した丹後産野菜・フルーツ・水産物の付加価値の創出
 - ▶ 山陰近畿自動車道とアクセス道路等の整備促進
 - ▶ 生活や産業を支える情報基盤の整備促進

（3）地域を支える人材の確保・育成

- 稼ぐ力の源泉となる人材の確保・育成を進めることにより、さらに地域全体が活性化する好循環を実現するため、誰もが活躍できる地域づくりを推進
 - ▶ チーム丹後による地域とのマッチングや空き家改修支援などの総合的な移住支援の実施
 - ▶ 外国人労働者等の生活サポート体制整備
 - ▶ 地域企業のニーズに応じた人材育成研修等による、企業の技術力向上支援
 - ▶ 地域に必要な人材確保のための二地域居住の推進等による関係人口創出
 - ▶ シニア観光ガイド養成等の高齢者の活躍推進
 - ▶ 大学生と地元中高生などと連携した地域課題解決と未来を担う人づくりの推進

3 エリア構想（北部グローバル構想）